

ハグしちゃおう！ 2021

令和3年度 園長日より 3号

今日で4月の教育日が終わりだなんて、ビックリです！駆け抜けた4月でした！始業式・入園式からあつという間で！新しい環境・人に緊張はするし、ここで叱っているのか？まだ早い？いや、今、きちんと伝えないと！そんな私達でした！久しぶりのヤンチャさでヘトヘトになる私達をよそに、年少さんは元気一杯(笑)そんな時、初めて年少を担当する梨那先生があすか先生に「いっごろ落ち着きますか？」と聞いてみたら・・「3学期かな？」と・・梨那先生の「落ち着く」という目標は、はるか先だという事がわかりました！(笑)年少経験のある先生方にとると、かなり面白いのですが、やっている方は必死ですから、ついつい、結果が欲しくなります。でも今は「落ち着く」という目標ではなく、全て出し切らせる！この方が得策です。私が担任時代、苦戦したことはもちろん私のいう事を聞いてくれない子ではありましたが、確かに3学期の頃には当初の苦労はありませんでした。お互いを知って上手い事、折り合いも付けられるようになってくるのです。もちろん、信頼関係さえできれば、叱る事も通じてきます。一方、大人しい子やなかなか自分を出せずにいる子への対応は今でも難しいです。何故、自分を出さないのか、緊張しているのか、怖いのか・・等等考えます。激しい子と大人しい子ではアプローチが全く違います。この一人一人の違いにあの手この手でアプローチする事が私たちの最も先生としての力量を試されているような気がしています。もうこの仕事を38年もやっている私でさえ？そのアプローチが一回で成功する事なんてなかなかありません。次の一手が決まるか！わくわくです(笑)。言う事を聞く子はいいい子か？そんな問いを常に持っていないと、間違っただ子育てをしてしまう恐れがあるのではないのでしょうか？

日本の伝統的な言葉に「継続は力なり」というものがあります。幼稚園の毎日はまさにそれです。毎日の積み上げで朝の会が出来るようになり、体操や読み書きも続ける事で習得できるものです。続ける事が大事で、続ける事で力になる・・そんな感じで理解します。逆に「継続しても力なし」という文言も隠れているわけです！ですから・・お稽古事をやめる時について「自分がやりたいって言ったんでしょ！」と言って続けさせたくありません。嫌々でも長く続けていると、身に着く事は確かにありますが、楽しくは・・ないですね。そんな私はお稽古事を14回は辞めています。凄くやりたいんです！張り切っているんです！入会金も払います！でも、やってみたら全然面白くなかったり、先生と気が合わないなんてこともあるわけです。さらに・・私はだんだん思うのです。「いちいち言わないで・・自由にさせて・・」と・・お花もお茶もピアノも英語もセオリーがあります。それを習う事を目的にするわけで、大切なのですが・・ちょっと苦手です(笑)。でも、興味がわくとすぐにやってみたくなるのです！そんな私に都合がいい言葉は「好きこそものの上手慣れ！」いいでしょ？自分勝手な子になるのではないかと・・なっています・・。でも、今、思うのは自分の好きな事をまずは見つけて、好きな事を学ば

いと思う、学んでいいという環境で育った私はかなり幸せ者だという事です。幸せの価値観は人それぞれですから、押し付ける事はありませんが、何かに困って悩んだ時は、裏返し言葉がある、裏返しの考え方もあるという事をお伝えしたく思っています。

子どもだけではなく、人は大人も子どもも一人一人違います。大人しいことが悪いことではありません。発達に凸凹があることも悪いことではありません。私が尊敬する田中康雄先生は健常児、障害児というくくりで判断せずに、その子の個性としてしっかり理解する大人が多くなることを望んでいます。こう見えて？私は小中学校、全くやる気のない、休みがちな子だったので、人はどんな出会いで人生が変わっていくかわかりません。

我が子のお稽古事ですが、2人の息子たちは私の押し付けで年少からピアノを習っていました。長男は理屈が必要で「どうしてここがドって決まったんですか？」と質問して「前から決まってるの！」と講師である私の友人に嫌がられていました(笑)。次男は全くやる気がなく、小学校から始めた野球に専念する為、年長までで退会。もちろん今は全く弾けません。さらに二人に公平に思っていて・・公文にも通わせました！そして毎回、宿題をやって行かないトップ3に入っていると言われていましたが、そんな彼らは公文が大好きでした・・いや、公文の先生が大好きでした！(笑)スノーボードも習わせたし、もちろんコスモもやっていたし、スキースクールは当初札幌でしか行っていなかったのですが、札幌まで通っていました。次男は野球一筋でその後習い事はしていませんが、長男は3年生の時に体験したドラムを1年間習いたいと懇願したので、ピアノを辞めてドラムを習い始めました。ドラムの先生が厳しくパンチのあるファンキーな女性で実に良く見切りをつけてくれました。「私ね、もう教える事がないから札幌の先生に習いなさい！東京行きなさい！」と抱え込まずに離してくれたのが、1番ラッキーな事だったように思います。そして、あんなに辞めたかったピアノをドラムの先生の「ポップスピアノはやったほうがいいよ」の一言で、あつけなく復活。

今、現在の彼らを見ていて、良かったか悪かったかはわかりませんが、出会いが一杯あって良かったと、これだけは自信を持っている事が出来ます。

私の子育ての種まきは多様で面白い種がまけたかな？と思っています。そして・・実は「一人の特定の先生に習いたくない！」と私と同じような事を言って音大受験を辞めたのですが、次男が大学を卒業した時と、昨年、長男に「もう一度音大チャレンジしてみない？」と、言ってみました。親は・・いつでも、いつまでも、我が子に良かれと思って、させたがる生き物だと自分ながらに感じています。断られましたけどね(笑)

選歴に何処に行きたいか・・それは！富士山！次男が小学1年生の時に家族でチャレンジして8合目前で夫が高山病になりリタイアしたあの富士山に！もう1度登ってみたいと願っています！

さあ！ゴールデンウィーク！なかなかお出かけにはいきませんが、ハグはできる！

ハグしちゃおう！